

プログラム概要

本講義は、「持続可能なグローバル社会づくり」、「産業とまちづくりの技術革新」、「情報・データによる事業展開」の3部で構成される。
 なお、講義は座学に偏らず、講師及び受講者を交えた討論や、グループワークなどの体験的な演習などを取り入れながら、知識を身に付ける。

グローバルSDGsとDX

区分	内容	SDGs目標	講師	日時
持続可能な グローバル社会 づくり	第1回 ガイダンス、グローバル化とSDGs SDGs(持続可能な開発目標)の重要性を、国際政治上の文脈ではなく、社会・経済のグローバル化および地球環境問題の深刻化と結びつけて理解する。そして他人ごとではなく自分ごととして取り組む姿勢を学ぶ。		内藤 望 (広島工業大学)	令和4年10月1日(土) 13:00~14:40
	第2回 グローバルな人材とは 一相互理解の心構え グローバル化が進展する中で、日本社会の特質を踏まえたうえで異なる文化や価値観をもつ人々に接する際の心構えを理解する。更には、それらの人々と共に働き暮らすために身に付けるべき基本的態度について学ぶ。		上水流 久彦 (県立広島大学)	令和4年10月1日(土) 14:50~16:30
	第3回 異文化理解と海外市場への挑戦(食品業界) 文化・習慣・嗜好は国によって異なる。法規制や経済状況も含め、その国を良く知った上で商品開発・販売などの経営戦略を練らなければ、海外で成功することは難しい。企業の海外進出で取り組むべきことや心構えを学ぶ。	 	野口 英善 (三島食品株式会社)	令和4年10月8日(土) 13:00~14:40
	第4回 情報社会におけるデザインの意義 曖昧に拡大することばの定義を超えて、「デザイン」の本質性を情報や社会という観点を切り口に探り、次世代に臨むための一助とする。		彌中 敏和 (株式会社GKデザイン総研広島)	令和4年10月8日(土) 14:50~16:30
産業とまちづくり の技術革新	第5回 モビリティ分野の役割とマツダのクルマづくり CASE/IoT他モビリティ分野は先の見通しが難しい時代を迎え、100年に1度の変革期とも表現されている。SDGsにおける今後のモビリティ分野の役割をマツダのデザイン、エンジニアリングの取り組みを例に読み解いていく。	 	田口 雅典 (マツダ株式会社)	令和4年10月29日(土) 13:00~14:40
	第6回 生活とエネルギー 我々の生活を維持していくために、自分自身が直接的にエネルギーを利用するほか、目に見えにくい部分でも間接的にエネルギーが使われている。エネルギーなしでは現代の我々の生活が全く成り立たないことを説明する。		八房 智顕 (広島工業大学)	令和4年10月29日(土) 14:50~16:30
	第7回 建設業界におけるDXと竹中工務店の取組み 建設業界では、生産性向上などの課題に対応するため、デジタル技術とデータの高度活用による事業の変革(DX)が急務である。竹中工務店の取組みを事例として紹介し、これからの建築とまちづくりについて考える。		金澤 英紀 (株式会社竹中工務店)	令和4年11月12日(土) 13:00~14:40
	第8回 お多福グループにおけるデジタル化の取り組み 食品業界やオタフクソースの業務特性を踏まえたデジタル化事例の紹介を通して、オタフクが業務プロセスの課題をDXの視点でどのように課題解決にチャレンジしたのかを学ぶ。	 	岡本 侯子 (オタフクホールディングス株式会社)	令和4年11月12日(土) 14:50~16:30
情報・データに よる事業展開	第9回 「スペシャルオリンピックス 2022 広島」大会をとおして見えた理想の共生社会のかたち AI・IoTといった技術・産業の革新が進む現代、忘れてはいけないのが人としてのあり方です。ひとりひとりの違いを認め合い、理解し、助け合う、優しい共生社会を作るために、私が大会を通じて感じた「人としての感性(EQ)」の大切さについてお話しします。	 	崔 希美 (インターナショナルエアアカデミー)	令和4年11月26日(土) 13:00~14:40
	第10回 感性データによるマーケティング 消費者の価値観をどのようにデータ化して、製品デザイン設計やコミュニケーション施策に反映していくのか。事例を交えて、顧客理解の重要性と最新のマーケティング手法を学ぶ。		和田 直之 (シナジーマーケティング株式会社)	令和4年11月26日(土) 14:50~16:30
	第11回 コンピュータ業界におけるグローバルスタンダードとDX すべてのモノがつながるIoTの時代、AIやDXといった言葉が飛び交うが、コンピュータ業界から見たグローバルスタンダードおよび今後何に取り組むべきかを考える。		岩田 恵一 (株式会社インタフェース)	令和4年12月10日(土) 13:00~14:40
	第12回 AI・ビッグデータのビジネス活用(コンサルティング業界) 昨今、コンサルティング業界においてもAIによるビッグデータのビジネス活用が広がっている。実際に導入した具体事例をもとに、「AIとは何か?」「具体的にどんな事が実現できるのか?」「ビジネス活用にあたりどのような前提条件があるのか?」を学ぶ。		里 洋平 (nat株式会社)	令和4年12月10日(土) 14:50~16:30
まとめ	第13回 中小企業のマーケティングにおける市場データ活用の実例(鳥の目・虫の目・魚の目) 大手石油化学メーカーのマーケティング実務者として海外駐在を経験し、帰国後家業である老舗中小企業を黒字転換させた講師が、市場データの活用方法とマーケティング手法の基礎を具体例とともに平易に伝える。		野口 隆志 (株式会社ノサックス)	令和5年1月7日(土) 13:00~14:40
第14回 まとめ 13回の講座を振り返り、SDGsの本質を理解するとともにグローバル化とDXに関する知識を自分のものとする。その上で、持続的な社会の成長をもたらす技術者となるべきアクションについて考える。		村上 修二 福島 千晴 (広島工業大学)	令和5年1月7日(土) 14:50~16:30	

講義終了後の海外現地研修(希望者のみ)

(注意) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、現在、開催の可否について検討中です。状況によっては開催を中止する可能性があるためご了承ください。

海外現地研修	本講義の受講者は、全講義受講終了後、「海外現地研修」として、海外で事業展開をしている企業を訪問し、意見交換および作業体験などを行うプログラム(約1週間)への参加を希望することができる。(研修に係る渡航費等は自己負担とする)	中国	令和5年 3月初旬~3月中旬
--------	---	----	-------------------